

見守り 新鮮情報

事例1 トイレに行こうと歩いていて**廊下の段差で転倒**した。**鼻を骨折**していた上、**くも膜下出血**と診断され入院となった。
(80歳代 男性)

事例2 パンを食べようとキッチンへ行ったところ、**トースターのコードに引っかかって転倒**。キッチンで**額を打ち出血**したため、病院に搬送された。
(80歳代 男性)



高齢者の 生活動線を点検して 転倒事故を防ぎましょう

ひとこと助言

生活動線を
点検しよう



見守るくん

- 家庭内で転倒し骨折するなど、高齢者の日常生活における転倒事故が報告されています。
- 高齢者は加齢等による身体機能の低下により、自宅のような慣れ親しんだ場所でも事故に遭うリスクがあります。高齢者の心身の変化に合わせて、家族などが家庭内の環境を再確認しましょう。
- 段差や電源コード、暗い場所など転倒の原因となりそうなものを減らしたり、家電製品の配置に気をつけたりするなど、高齢者の生活動線を点検することが大切です。
- 定期的に電話をかけたり訪問したりするなど、家族や周囲の人が高齢者とコミュニケーションを取り、様子を見守りましょう。